

Unit 10 ナイアガラの滝 (4時間)

本単元における小学校英語活動を生かした指導

本単元では、トロントからナイアガラへの観光旅行の様子がたくさんの写真とともに紹介されている。小学校英語活動では、教室を工夫し場の設定を行い、活動することが多い。場の設定が工夫された教室の中で活動することにより、生徒の学習意欲が高まるとともに、英語を実際の場面に近い設定の中で使うことによって、言語の働きも理解しやすくなると考える。本単元では、教科書の写真を使い、それを教室の壁に飾ることにより、生徒がカナダにいる雰囲気を感じながら、活動に取り組めるようにしたい。臨場感がある場面設定を心がけ、場所あるいは時間を意識しながら話す活動に取り組むことにより、生徒は、英語をコミュニケーションの手段と感じながら学習に取り組むことができると考える。その結果、生徒の英語への関心も高まり、活動に意欲をもって取り組めるようになり、さらに表現の定着も図ることができると思う。

1 目標

- ・ トロント市内の名所について理解する。
- ・ 自分ができることとできないことについて、述べることができる。
- ・ can を用いた文の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・ ナイアガラの滝について理解する。
- ・ あることができるかどうかを尋ねたり、それに答えることができる。
- ・ おおみそかのナイアガラの光の祭典について理解する。
- ・ 「いつ～？」と時期について尋ねたり、それに答えることができる。
- ・ When～?の文の形・意味・用法を理解し、表現できる。

2 評価規準

	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
聞くこと	(言語活動への取組) カナダの名所に関心をもっている。 (コミュニケーションの継続) 理解できないところを Pardon?などで聞き返そうとしている。		(正確な聞き取り) カナダの名所での会話を正しく聞き取ることができる。 (適切な聞き取り) 相手の説明の大切な部分を聞き取ることができる。	(言語についての知識) 形容詞、副詞の前で使われる too を理解している。 (文化についての理解) Oh, here we are.など日常生活に根付いた言葉を理解している。
話すこと	(言語活動への取組) 間違いを恐れず、英語で積極的に話している。 (コミュニケーションの継続) つなぎ言葉を用いるなど、不自然な沈黙をせず話し続けている。	(正確な発話) できること、できないことなどを正しく伝えることができる。 (適切な発話) can や疑問詞 when を用いて質問したり、適切に応答することができる。		(言語についての知識) 助動詞 can、疑問詞 when の用法を理解している。 (文化についての理解) カナダのことを理解している。
読むこと	(言語活動への取組) カナダの名所など、読んでいる内容に関心をもっている。 (コミュニケーションの継続) 理解できないところがあっても推測して読み続ける。	(正確な音読) can と can't の違いや強勢、抑揚に注意して正しく音読することができる。 (適切な音読) ナレーションなど、場面に応じた音読ができる。	(正確な読み取り) 名所案内やナイアガラでの対話文の内容について、正しく読み取ることができる。 (適切な読み取り) 名所などの大切な情報を読み取ることができる。	(言語についての知識) 助動詞 can、疑問詞 when の用法を理解している。 (文化についての理解) カナダの地理、文化について理解している。
書く	(言語活動への取組) 間違えることを恐れず、名所紹介を書いている。	(正確な筆記) can や when を正しく用いて紹介文を書くことができる。		(言語についての知識) 助動詞 can や疑問詞 when の文の意味・構造を理解している。

こと	(コミュニケーションの継続) 知っている表現を使って書き続けている。	(適切な筆記) 相手に伝わるように文のつながりを考えた文章を書くことができる。	/	(文化についての理解) 日本や群馬の名所を理解している。
----	---------------------------------------	--	---	---------------------------------

3 指導と評価の計画

(網掛けは、小学校英語活動を生かした活動・指導)

時間	ねらい()と 学習活動()	指導上の留意点及び支援の工夫 「おおむね満足」に達していない生徒への手だて	単元の 評価規 準との 関連	具体の評価規準 A「十分満足」 B「おおむね満足」 (評価方法)
1	<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>① Sailing を歌う。</p> <p>場面を理解する。</p> <p>② 教師の説明を聞き、トロント市内の名所について知る。</p> <p>Part1 の内容を理解し、ナレーションをする。</p> <p>③ Part1 を聞き、内容をつかむ。</p> <p>④ Part1 の新出単語を練習する。</p> <p>⑤ 本文の音読練習をする。</p> <p>⑥ Q and A で内容を確認する。</p> <p>⑦ 名所を一つ選び、ナレーターになり紹介する。</p> <p>⑧ 名所別に友達の紹介文を読み、まとまっているものを選び、代表者が発表する。</p>	<p>can を復習できるように Can you hear me? の表現を説明する。</p> <p>名所の写真を教室の周りに飾り、教室をトロント市内に見立てて説明をすることで、内容に興味をもてるようにする。</p> <p>トロント市内を取材するナレーターという設定で、ジュディのナレーションを参考に聞くよう助言する。 音と文字を結び付けられるようにフォニックスを取り入れた音声指導を行う。</p> <p>Read and Look up など様々な読み方をするので繰り返し練習できるようにする。</p> <p>読めない単語を個々に指導する。 答えがキーワードのみ空欄のワークシートを使用することで、書くことに取り組めるようにする。</p> <p>can の用法について説明し、表現が定着できるようにする。</p> <p>②の説明を参考にし、名所の簡単な説明を写真の下に簡条書きで貼り付けておくことで、活動に興味をもって取り組めるようにする。 本文のナレーションを参考に書くよう助言する。</p> <p>同じ名所を選んだ人の発表を聞くことで、自分のものと比較できるようにする。 名所別に写真を見せながら発表することで、場面を意識できるようにする。</p>	ア イ ウ エ ア イ エ	<p>ジュディのナレーションを聞き、大切な部分を聞き取り、正しく音読している。 A ナレーションを正しく理解し、強弱に注意して読んでいる。 B エアカナダセンターについて理解し、モデルに近付こうと読んでいる。 (観察、メモシート)</p> <p>助動詞 can を用いて紹介をすることができる。 A 相手に分かるよう表現を工夫し説明している。 B can を用いて紹介することができる。 (観察、ワークシート、発表)</p>
	<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>⑨ Sailing を歌う。</p> <p>場面を理解する。</p> <p>⑩ 教師の説明を聞き、ナイアガラの滝について知</p>	<p>現在進行形に気を付けて歌うよう促す。</p> <p>ナイアガラの滝の写真を教室に張って説明し、その場にいる雰囲気</p>		

<p>る。</p> <p>Part2 の内容を理解する。</p> <p>11 Part2 を聞き、内容をつかむ。</p> <p>12 Part2 の新出単語を練習する。</p> <p>13 本文の音読練習をする。</p> <p>14 Q and A で内容を確認する。</p> <p>場面に合う会話を考える。</p> <p>15 ナイアガラの滝での会話を考え、ペアで発表する。</p>	<p>感じることができるようにする。</p> <p>You are at Niagara Falls with your friend. という場面設定で活動を行うことを指示する。</p> <p>リサとマイクはどんな会話をしているかをとらえられるようにする。</p> <p>音と文字を結び付けられるようにフォニックスを取り入れた音声指導を行う。</p> <p>ペアで役割交代しながら練習し、暗唱できるようにする。</p> <p>読めない単語を個々に指導する。</p> <p>答えがキーワードのみ空欄のワークシートを使用することで、書くことに取り組みできるようにする。</p> <p>can の疑問文の用法について説明し、内容を理解できるようにする。</p> <p>10 の説明を思い出し、ナイアガラの滝、あるいはレインボーブリッジにいるという設定で、活動に興味をもって取り組めるようにする。</p> <p>can の疑問文を用いて考えるよう指示する。</p> <p>机間指導し、表現についてアドバイスする。</p>	<p>ア</p> <p>イ</p> <p>ウ</p> <p>エ</p> <p>ア</p> <p>イ</p> <p>エ</p>	<p>リサとマイクの会話を理解し、正しく音読できる。</p> <p>A 二人の会話を正しく理解し、場面や気持ちが伝わるように正しく音読できる。</p> <p>B 会話の大切な内容を理解し、モデルに近付こうと読んでいる。</p> <p>(観察、ワークシート)</p> <p>場面を考えた会話を行うことができる。</p> <p>A 場面に合った会話を行うことができる。</p> <p>B can の疑問文を用いて対話を行うことができる。</p> <p>(観察、発表)</p>
<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>16 Sailing を歌う。</p> <p>おおみそかの場面を考える。</p> <p>17 教師の説明を聞き、おおみそかの過ごし方について考え、教師の質問に答える。</p> <p>Part3 の内容を理解する。</p> <p>18 Part3 を聞き、内容をつかむ。</p> <p>19 Part3 の新出単語の練習をする。</p> <p>20 本文の音読練習をする。</p> <p>21 Q and A で内容を確認する。</p> <p>場面をペアで考え、それに合う会話を行う。</p> <p>22 友達と過ごすおおみそかの会話を考え、発表する。</p>	<p>like について説明し、歌詞を理解できるようにする。</p> <p>おおみそかを感じることができるように、カレンダーを準備する。</p> <p>教師のおおみそかの過ごし方を説明してから生徒に質問することで、内容を推測できるようにする。</p> <p>カナダのおおみそかの様子をとらえるよう促す。</p> <p>mid の使い方の説明をする。</p> <p>ペアで役割交代しながら繰り返し読み、暗唱できるようにする。</p> <p>読めない単語を机間指導する。</p> <p>答えのキーワードのみ空欄のワークシートを使用する。</p> <p>疑問詞 when の用法について説明し定着を図る。</p> <p>いろいろな場所の写真を掲示し、ペアで場所を決め、そこでおおみそかを迎えるという会話を考えることで、様々な会話を行えるようにする。</p>	<p>ア</p> <p>イ</p> <p>ウ</p> <p>エ</p> <p>ア</p> <p>イ</p> <p>エ</p>	<p>慎とリサの会話を理解し、正しく音読できる。</p> <p>A 会話の内容を正しく理解し、イントネーションなど正しく音読できる。</p> <p>B 会話の概要を理解し、意味が伝わるように音読することができる。</p> <p>(観察、ワークシート)</p> <p>場所と時を考えた会話を行うことができる。</p> <p>A 積極的に場面に合った対話を行うことができる。</p>

		疑問詞 when を用いるよう伝える。 机間指導し、表現についてアドバイスする。	B when を用いて対話することができる。 (観察、発表)
4	<p>英語学習への意欲をもつ。 23 Sailing を歌う。</p> <p>カナダの名所紹介の文を読み、理解する。 24 名所の紹介文を読み、内容を理解する。</p> <p>25 理解した内容を整理し、写真を見せながらグループで紹介する。</p> <p>群馬の名所紹介をする。 26 群馬の名所を紹介する文を書く。</p> <p>27 グループで発表し、群馬の名所ここはどこ？クイズをする。</p>	<p>タイトルのもつ意味を考えるよう促す。</p> <p>カナダの名所を取り上げ、写真などを使い簡単な説明文を書いておくことで、読む活動に取り組めるようにする。 名所はグループの構成人数文用意する。 理解の難しい表現を個々に指導する。</p> <p>自分が理解したことを文を見ないで説明することで、表現の定着を図れるようにする。 写真を活用できるようにする。</p> <p>自分の紹介したい名所について調べ、写真やパンフレットなどを準備しておくことを伝える。 机間指導し、表現についてアドバイスをする。</p> <p>聞いている人がどこなのか集中して聞けるように、クイズ形式で場所名は最後に紹介するよう指示する。</p>	<p>ア イ ウ エ</p> <p>名所紹介を読んだり、書いたりすることができる。 A 紹介文を正しく読み取り、相手に伝えるように紹介することができる。 B 紹介文を参考に、群馬の名所を紹介することができる。 (観察、ワークシート、発表)</p>

小学校英語活動を生かした指導に関わる 3 時間分

英語科学習指導案 (Unit 10) 第 1 時 1/4

本時における小学校英語活動を生かした指導

小学校英語活動では場の設定を工夫して活動することが多い。本文にはカナダの名所の写真がたくさん取り上げられているので、本文の写真を活用し、教室を飾り付けることで、カナダの雰囲気を感じながら学習に取り組めるようにしたい。さらに生徒が興味をもって取り組めるように、小学校英語活動のごっこ遊びを取り入れ、ビデオ撮影をしているジュディになりきって、オーストラリアでナレーターをするという設定で活動したい。また、カナダの名所について写真だけでなく名所の解説を載せることは、異文化への関心を高めることにつながると考える。このように本時は、写真を利用して場の設定を行い、ある人物になりきって活動することで、生徒が学習への興味をもちながら、積極的に活動に取り組めるようにしたい。また、ナレーションを書いたり、友達のナレーションを読んだりする活動を取り入れることで、「聞く」「話す」に偏ることなく、「読む」「書く」とこととバランスのある指導を行っていきたい。

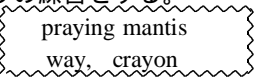
1 本時の目標

- ・ can を用いた文の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・ Part 1 の内容を理解し、トロントの名所について知る。

2 準備

- ・ CD、ピクチャーカード、フラッシュカード、ワークシート、メモシート、カナダの名所の写

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
5	英語学習への意欲をもつ。	英語であいさつをする。 Sailing を歌う。	前時までの言語材料を使い質問することで、表現の定着を図れるようにする。 can が復習できるように Can you hear me? の表現を説明する。	
5	場面を理解する。	トロント市内の名所についての教師の説明を聞く。	名所の写真を教室に飾り、それを使って簡単な説明をすることで、本文の内容に興味をもって取り組めるようにする。	
20	Part1 の内容を理解し、ナレーションをする。	Part1 の内容を聞き取り、分かったことをメモする。 Part1 の新出単語を練習し、ay の読み取りと書き取りの練習をする。  本文の音読練習をする。 本文についての質問に答える。 can の用法を理解する。	書く活動に取り組めるように、エアカナダセンターの写真の下にメモ欄をつけたワークシートを準備する。 意味とつづり、読み方を定着できるようにするために、フラッシュカードを用いる。 maybe, someday の ay の発音指導と書き取り練習を小学校英語活動で触れた単語を使い、フォニックスで指導し、音と文字を結び付けられるようにする。 Read and Look up などさまざまな読み方を行うことで、繰り返し練習ができるようにする。 Q and A の答えを英文で記入することで内容を確認できるようにする。 can の用法を疑問文も含め説明し、理解できるようにする。	ジュディの説明を理解し、文の強弱に気を付けて読んでいく。
20		名所を一つ選び、ナレーターになって紹介する原稿文を書く。 友達の紹介文を読み、発表者を決める。 グループの代表者がナレーター役になり、発表する。	教室の周りに飾ってある写真の中から、名所を一つ選ぶことで、興味をもって取り組めるようにする。 名所の写真の下に、その説明をメモの形で単語で書いておき、書く活動に取り組めるようにする。 can を使って表現できる内容を入れておくようにする。 同じ名所を選んだ人のナレーションを読むことで、自分のものと比べられるようにする。 名所別にナレーター役で発表することで友達の紹介文にも関心をもてるようにする。	can を用いて紹介することができる。

本時における小学校英語活動を生かした指導

本時も前時同様、本文にあるナイアガラの滝とレインボーブリッジの写真を教室に掲示し、生徒がその場にいるような臨場感を感じることができるよう工夫を行う。本文の対話を音声のみで聞く時に、対話の場面（写真）を見ながら聞くことは、対話の内容に関心をもつことができ、また対話の内容を身近にとらえることもできると考える。さらに、「友達と一緒にナイアガラの滝にいる」という場面設定の中で一時間活動することは、本文音読後、場面に合った会話を考える学習において、様々なことを想像することができ、表現する内容をたくさん考えることができ、表現の定着へとつながると考える。そして、臨場感あふれる中で活動しながら、カナダの地理などにも関心をもつことができるようにしていきたい。

1 本時の目標

- ・ あることができるかどうかを尋ねたり、それに答えることができる。
- ・ Part 2 の内容を理解する。

2 準備

- ・ CD、ピクチャーカード、フラッシュカード、ワークシート、写真

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
5	英語学習への意欲をもつ。	英語であいさつする。 Sailing を歌う。	前時までの言語材料を使い質問することで、表現が定着できるようにする。 現在進行形に気を付けて歌うよう促す。	
5	場面を理解する。	ナイアガラの滝について教師の説明を聞く。 本時の場面を理解する。	ナイアガラの滝、レインボーブリッジの写真を教室に掲示し、本文の内容に興味をもてるようにする。 You are at Niagara Falls with your friend. という場面設定で活動することを説明し、場面を理解できるようにする。	
20	Part2 の内容を理解する。	Part2 を聞き取り、内容をつかむ。 Part2 の新出単語を練習し、ai の読み取りと書き取りの練習を行う。 <i>train, mail, chain</i> 本文の音読練習をする。 本文についての質問に答える。 can の疑問文の用法を知る。	リサとマイクはどんな会話をしているかあらすじをとらえるように促す。 意味とつづり、読み方を定着できるようにするために、フラッシュカードを用いる。 rainbow の ai の発音練習と書き取り練習を小学校英語活動で触れた単語を使いフォニックスで指導し、音と文字を結び付けられるようにする。 暗唱できるようにペアで役割交代しながら読むよう指示する。 Q and A の答えを単語で書くことで内容を確認できるようにする。 小学校英語活動において、できるスポーツについて尋ねたことを思い出し、表現に生かせるようにする。	会話を理解し、場面や気持ちが伝わるように読んでいく。
20	場面に合う会話を考える。	ナイアガラの滝での会話をペアで考える。 ナイアガラの滝の写真を用いてペアで発表する。	ナイアガラの滝、あるいはレインボーブリッジにいるという場面を与えることで、興味をもって活動に取り組めるようにする。 can の疑問文を入れて対話を考えることで表現の定着を図れるようにする。 会話が自然なものになるよう写真などを効果的に利用し、ジェスチャーなどをつけて発表するよう指示する。	can を用い会話をすることができる。

本時における小学校英語活動を生かした指導

本時の題材は、おおみそかのナイアガラの光の祭典についてである。おおみそかの場面を感じながら本文音読に取り組めるように、導入時にカレンダーを使い12月31日を意識し、教師のおおみそかの過ごし方を英語で説明する。おおみそかという教科書の場面と同じような状況を感じながら本文の読解に取り組むことで、人物の気持ちを考えながら音読することができると思う。また、本文を理解した後、目標の言語材料を用いて自分たちのおおみそかの過ごし方を考え、ペアで会話することは、生徒の想像力を掻き立て、活動に意欲的に取り組めるようになると思う。このように小学校英語活動の視覚にうったえる場面設定は、生徒の表現力をふくらませ、生徒が自分の気持ちや考えなどを表現しやすくなり、言語活動を活発に行ううえで効果的であると思う。

1 本時の目標

- ・ When~?の文の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・ Part 3の内容を理解する。

2 準備

- ・ CD、ピクチャーカード、フラッシュカード、ワークシート、カレンダー、写真

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
5	英語学習への意欲をもつ。	英語であいさつする。 Sailingを歌う。	前時までの言語材料を使い質問することで、表現の定着をはかれるようにする。 likeについて説明し内容を理解することができるようにする。	
5	おおみそかの場面を理解する。	おおみそかの過ごし方についての教師の話聞く。 おおみそかに関する教師の質問に答える。	カレンダーを使い、おおみそかの雰囲気を感じることができるようにする。 教師の説明のあと、How about you?で生徒におおみそかをどう過ごすかを尋ねることで、質問の内容を推測することができるようにする。	
20	Part3の内容を理解する。	Part3を聞き、内容をつかむ。 Part3の新出単語を練習し、midの使い方を知る。 本文の音読練習をする。 本文についての質問に答える。 When~?の用法を知る。	カナダのおおみそかの様子をとらえられるようにする。 意味とつづり、読み方を定着できるようにするために、フラッシュカードを用いる。 midnightのmidについて、middle, midsummer, midtermを用いて説明する。 ペアで役割交代しながら読むことで、暗唱できるようにする。 Q and Aの答えを英語で記入することで内容を確認することができるようにする。 小学校英語活動で慣れ親しんでいる表現を使いながら指導することで、Whenの用法を推測できるようにする。 When is your birthday? When do you go? What time do you get up? など	会話の内容を理解し、イントネーションに気を付けて読んでいる。
20	場면을ペアで考え、会話を行う。	友達と過ごすおおみそかの対話を考える。 ペアで発表する。	We are at(in) 場所.で場面を設定し、おおみそかを過ごす場所をペアで自由に考えることで、様々な表現を用いて対話できるようにする。 いろいろな場所の冬の写真を掲示し、関心をもてるようにするとともに、場所を選ぶ時の参考にするよう伝える。 写真を背景に会話を発表することで、場面を意識して対話できるようにする。	Whenを用いて会話をすることができる。